

地域で高齢者を見守る・支えるシンポジウム

～孤立しない、孤立させないために～



と き 10月11日（木）午後2時～4時

ところ 砂川市地域交流センターゆう 大ホール

主 催 砂川市

後 援 砂川市社会福祉協議会

砂川市民生児童委員協議会

砂川市町内会連合会

主 管 砂川市地域包括支援センター

地域で高齢者を見守る・支えるシンポジウム

～孤立しない、孤立させないために～

現在、市では新しく「地域で高齢者を見守る・支えるしくみ」づくりを、関係機関等と協議しながら進めています。

ここ数年、高齢者の孤立が社会問題として取り上げられるなか、地域福祉のあり方、地域の間人間関係をどう作っていくか改めて問われています。

地域みんなで手を取り合って互いに支え合うことについて、今一度見つめ直してみませんか！

【プログラム】

時 間	内 容
13:30	開 場
14:00	開 会 主催者挨拶 砂川市長 善岡 雅文
14:05 ～15:20	第1部 基調講演 演 題 最期まで孤立しないために ～遺品整理の現場から学ぶ～ 講 師 遺品整理専門会社 キーパーズ (有) 代表取締役 吉田 太一 氏
	休 憩
15:30 ～16:00	第2部 意見交換 コメンテーター 遺品整理専門会社 キーパーズ (有) 代表取締役 吉田 太一 氏 司 会 進 行 フリーアナウンサー オフィス鶴羽 代表 鶴羽 佳子 氏

【講師紹介】



吉田 太一／よしだ・たいち 氏

【遺品整理専門会社 キーパーズ(有) 代表取締役】

大阪府生まれ。1994年、「トランスポート引越サービス／吉田物流(株)」を創業。全国初、引越し屋さんのリサイクルショップを立ち上げメディアの反響を呼ぶ。

そして数々のお宅へ伺う中で得た顧客の声をヒントに‘遺品整理’の必要性・将来性に着目。2002年、これまた全国初となる‘遺品整理専門会社キーパーズ’を設立。『天国へのお引越しのお手伝い』をコンセプトに、東京・名古屋・富山・大阪・福岡・北海道・北九州、そして韓国に支店を構え、年間1,500件に及ぶ遺品整理サービスを提供している。

また、1年間に300件を超える‘孤立死’現場の中から、見聞きし実感した事柄を発信していく活動も積極的に行っており、『孤立死しない為には』『死に様から学ぶ生き様』など、遺品整理人という独自の立場から社会問題を捉え問題提起。重々しいテーマと対照的な、軽妙な口調と関西仕込みのユーモアあふれるトークが好評を博し、全国各地で催される講演会は、現在では年間50件以上にも上る。

著書：「遺品整理屋は見た!」・「遺品整理屋は見た!!天国へのお引越しのお手伝い」共に扶桑社、「おひとりさまでもだいじょうぶ」ポプラ社、「遺品整理屋が聞いた・遺品が語る真実」青春出版、「孤立死・あなたは大丈夫ですか？」扶桑社、「私の遺品お願いします。」など多数

2011年11月にキーパーズがモデルとなった小説「アントキノイノチ」(さだまさし著、幻冬舎)が映画化され、モントリオール映画祭にてイノベーションアワードを受賞、日本中に遺品整理業の存在が知られる事となった。

日本ペンクラブ会員

「最期まで孤立しないために」～遺品整理の現場から学ぶ～

「天国へのお引越しのお手伝い」キーパーズ(有) 代表取締役 吉田太一

★はじめに

- ・なぜ私が講師なのか？（亡くなった方の部屋に入った事が日本で一番多い人だから）
- ・遺品整理の現場から故人の生き様から学ぶ。（遺品とは？・遺品整理は考古学？）
- ・DVDの放映と制作の目的（現実を知る事によって変わる自主的な考えや行動）

★孤立死を減らすのではなく、孤立させない事が重要

- ・孤立死の実態の把握は困難（解決するには現状と実数の把握が前提だが・・・）
- ・社会から孤立していなければ死後数日発見が遅れても孤立死ではない（室内事故死）

★現場に遺された生き様から見える原因

- ・年間遺品整理 1,600 件、孤立死の作業件数約 200～300 件（80%が男性と非常に多い）
- ・高齢者の問題だけではない？（意外に多い初代オタク世代 50 代から 65 歳までの孤立死）
- ・過去 40 年間で何が起こったのか？（1 ルーム M、コンビニ、PC、携帯、ゲーム等の増加）
- ・何故、孤立し引き籠るのか？（会社から突然突き放された不器用な中年男性の心理）
- ・バランスの崩れた人間の増加（誰にも干渉されず、不衛生で乱れた部屋で暮らす人々）
- ・本当の健康意味を忘れた人々の増加（身体的、精神的、社会的、経済的良好なバランス）
- ・若年化していく孤立化の問題（煩わしさから逃避し、便利と自由な世界で育った人格）
- ・孤立死に恐怖を感じない若者（人生の幸せ度の高い高齢者と低い 20 代の若者の心情）
- ・高齢化や少子化以上に怖い未婚者の増加問題（異性に関して興味のない若者の増加）
- ・男女共に増える単身世帯（結婚の意義の崩壊、女性の社会進出と男性の経済的不安定）

★男性と女性の違いによる要因

- ・目的、結論、同調が無いと長く話を続けられない男性、話すとスッキリする女性
- ・他人との会話のネタを持たない不器用で家庭生活で役に立たない男性（産業廃棄物？）
- ・セカンドライフを有意義に過ごせる女性、嫁が先に亡くなると生活できない男性
- ・“助けてほしい”と言えないプライドの高い不器用な男性（世話好きの女性に頼る選択）
- ・自立度の高い“おひとりさま女性”の孤立死の増加の危険性（生活時間が男性化する）

★社会から孤立しない為に・・・（孤立死以上に考えないといけない事）

- ・現実を知り“自分は孤立死したくない”という強い気持ちを持つ事が一番の対策
- ・親友よりも身近な友達を複数人持つ。※身内よりも親友よりも当てになる近くの友達
- ・部屋は綺麗にして、壊れた電化製品はすぐに修理する（バランスを保つ習慣を意識）
- ・若者の孤立化防止策を考える事が自身の孤立化防止対策につながる（示しがつかない）
- ・何歳まで生きるかを自分で決めておく事（距離と燃料を確認する…、1 年は 8,760 時間）

★おひとりさまからの電話

- ・遺品整理の事前相談者の増加（大半が女性、自分の事は自分で・・・）
- ・30%は身内が居ない、30%は身内に迷惑かけたくない、30%は身内は全て拒否したい
- ・自分がまさかこの年まで生きるとは思わなかった（どうしたら上手く死ぬるかしら？）
- ・質素に遠慮して大人しく生活しない事（少し可愛げを持ち、多少我ままな方が良い）